

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【公表番号】特表2016-537466(P2016-537466A)

【公表日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-066

【出願番号】特願2016-528209(P2016-528209)

【国際特許分類】

C 08 G 18/00 (2006.01)

C 08 G 18/10 (2006.01)

C 08 J 9/12 (2006.01)

C 08 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 08 G 18/00 H

C 08 G 18/10

C 08 J 9/12

C 08 G 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月7日(2017.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリウレタン、ポリイソシアヌレート、またはポリ尿素発泡体であって、
 A) 案により、イソシアネート反応性化合物(NCO反応性化合物)と、
 B) 直鎖状、分岐状、もしくは環状のC1～C6炭化水素類、直鎖状、分岐状、もしくは環状のC1～C6(ハイドロ)フルオロカーボン類、N₂、O₂、アルゴン、および/またはCO₂を含む群から選択される発泡剤であって、超臨界または近臨界状態にある発泡剤B)と、
 C) 案により、ポリイソシアネートと、
 D) 両親媒性イソシアネートと、
 E) 案により、界面活性剤と、
 F) 案により、さらなる補助/追加物質と

を含む混合物の反応から得ることができる、ポリウレタン、ポリイソシアヌレート、またはポリ尿素発泡体。

【請求項2】

両親媒性イソシアネートが、1～18のHLB値を有する、請求項1に記載のポリウレタン、ポリイソシアヌレート、またはポリ尿素発泡体。

【請求項3】

両親媒性イソシアネートの割合が、全組成の重量に対して、5～70重量%である、請求項1または2に記載のポリウレタン、ポリイソシアヌレート、またはポリ尿素発泡体。

【請求項4】

成分A)～F)が、下記重量百分率(重量%)で全組成中に存在する、請求項1～3のいずれか一項に記載のポリウレタン、ポリイソシアヌレート、またはポリ尿素発泡体：

A) 0～60重量%、好ましくは10～60重量%、

B) 2 ~ 40 重量 %、
C + D) 20 ~ 70 重量 % (ここで、 C) : D) の重量百分率の比は、 0 : 100 ~ 75 : 25 、好ましくは 1 : 99 ~ 75 : 25 である) 、
E) 0 ~ 20 重量 %、
F) 0 ~ 10 重量 %、
ここで、全ての割合の合計が 100 重量 % となる。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のポリウレタン、ポリイソシアヌレート、またはポリ尿素発泡体の製造方法であって、

- 成分 A) 、 B) 、 C) 、 D) 、および場合により E) 、および場合により F) を含む混合物を、密閉型内に導入する工程であって、該混合物が導入された後に、該密閉型が、その内部容積および / またはその内部に行き渡る圧力が外力によって変更され得るように設けられる工程と、

- 成分 A) 、 B) 、 C) 、 D) 、および場合により E) 、および場合により F) を含む混合物を、 0 秒以上の所定の持続時間にわたって密閉型内に滞留させる工程と、

- 密閉型の内部容積を増加させ、および / または密閉型の内部に行き渡る圧力を外力によって低減させる工程と

を含む、方法。

【請求項 6】

- 請求項 1 ~ 4 の一項以上に記載の化合物 A) 、 B) 、 C) 、 D) 、および場合により E) 、および場合により F) の混合物を、高圧下で提供する工程と、

- 該混合物を吐出する工程であって、混合物中に行き渡る圧力が、吐出中に大気圧まで低減される工程と

を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のポリウレタン、ポリイソシアヌレート、またはポリ尿素発泡体の製造方法。